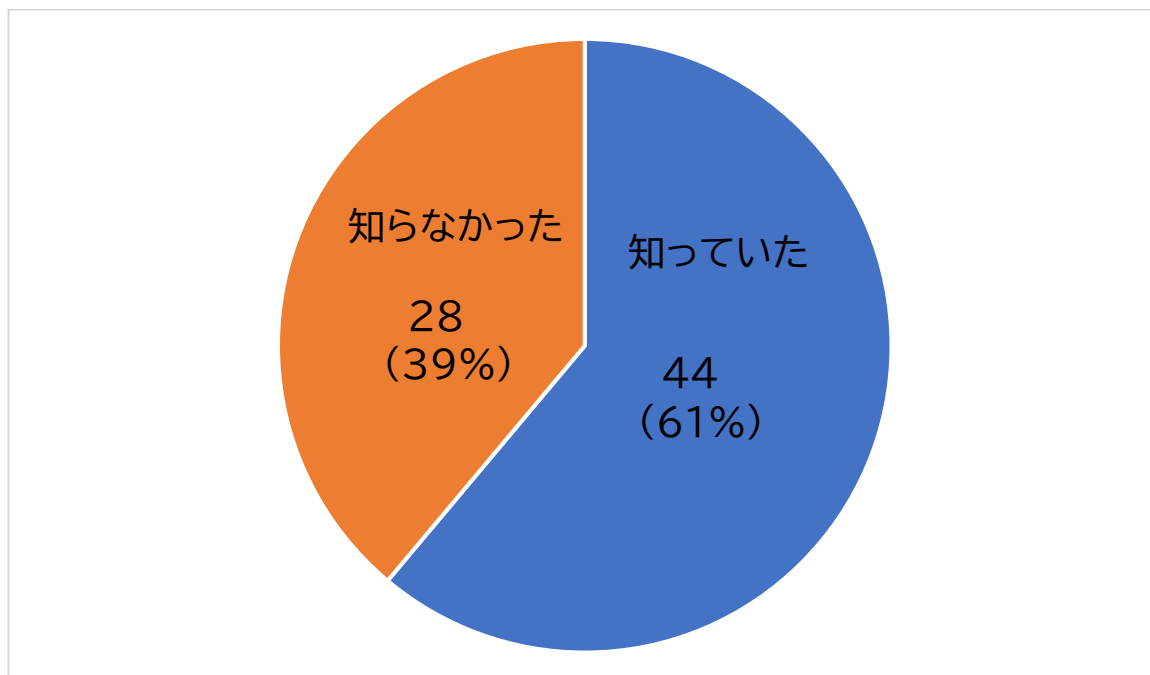


★アンケート回答は72名:職場の友人やご家族のご協力もいただいた例がありました。

【2. マスク・プラごみ・マイクロプラスチック編】

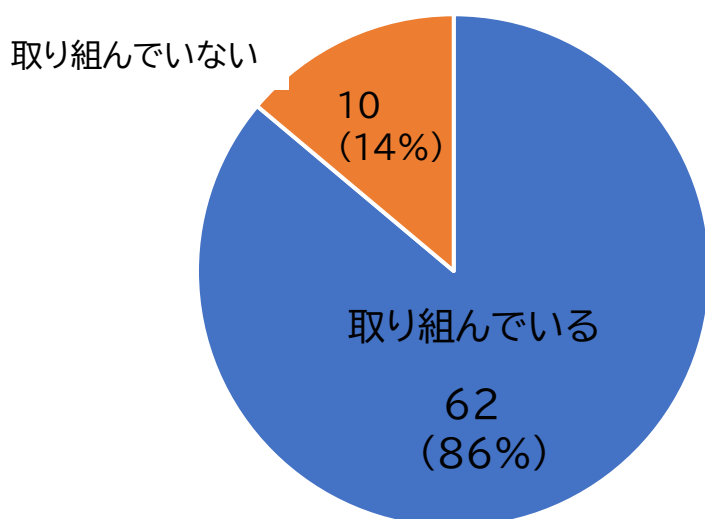
【設問4】使い捨てマスクの不織布もプラスチック製と知っていましたか？



④ 使い捨てマスクの不織布もプラスチック製と知っていましたか？	
知っていた 44	<ul style="list-style-type: none"> *名前に「布」とあるので誤解されていますよね？海洋ごみが心配です…。 *紙おむつも紙ではなく、プラスチックが使われています *回収ペットボトルを細かく繊維状にしてプラマスクを製造、最近では海に浮いているということも聞いています。コロナ禍で利用が世界的に増えていると思いますが更に飛沫接触防止用のプラスチックの仕切りなど、プラスチック利用の増加は止まっていないと思います。 *100%プラスチックとは知りませんでした かなりの割合で入っているとは思っていません *最近、報道で知りました *最近では海洋ごみとして漂い海洋生物に被害をもたらす可能性も指摘されていますので、不織布マスクは燃えるゴミとしてきちんと捨てるよう心がけています *知っていましたがあまり意識していませんでした。 *知っていますが ついつい気楽に使用しています *原材料の一部にプラスチック材が使われていると思っていた *マスクに限らず白いシートの見分けが付き難いと思います。タンク型除湿剤の上部に貼っているシートも消費者の方々には「上の白い紙」という方が多いです。プラスチックのシートです。

	<p>*でも感覚的にはプラスチックのイメージは持たなくて、捨てる時もプラごみをばいばい捨てているという罪悪感はないです。</p> <p>*知っているがプラごみは容器包装なのでルール上燃えるゴミとして廃棄している。ポイ捨ては論外。</p> <p>*レジ袋以外にもたくさんのプラスチック製のものがあって、これに対してももっと注意喚起していけないといけない、と思っています。不織布がプラというのは、よくわかりますが、一方でこれによって菌の透過率が抑えられているので、使用そのものよりも後始末に問題があると感じています。</p> <p>*環境問題にもなっていますし、プラスチックの微粒子が肺に溜まるとも聞いていたのであまり使用したくはないのですが、使っています。</p> <p>*紙だと思っていたので知った時はびっくり。不織布の効果もあるので廃棄の仕方をしっかりすることが大事。</p> <p>*ほぼ手作り布マスクで過ごしています。</p>
<p>知らなかった</p> <p>28</p>	<p>*紙製だと思っていました。</p> <p>*化学繊維も混じってはいると思いましたが、天然素材が主だと思っていました。</p> <p>*使い捨てマスクは利用していない</p> <p>*言われてみれば…</p> <p>*今回のことで知りました。使い捨てとはいえ、二度三度洗濯し、近所まわりはこれを利用しています。</p> <p>*「布」という言葉からプラスチックと結びつけて考えられていなかった。そういえばそうだと思い、非常に勉強になった。</p> <p>*飲食料容器の紙パックも、内部にプラスチックがあるのでは、と思う。</p> <p>*燃えるゴミとして捨ててしまっていたが、リサイクルゴミとして捨てられるなら、そうしたい。</p> <p>*考えてもいませんでした！不織布の成分をよくよく考えると、そうですね。ショックです。となると、布製の手作りマスクは環境に優しいですね。</p>

【設問5.】プラスチックごみの削減に取り組んでいますか？



⑤ プラスチックごみの削減に取り組んでいますか？& 具体的な取り組みは？

取り組んでいる

63

*マイバック、マイボトル、レジ袋など容器包装を断る、同じものならプラスチック製でないものを購入(マスクは布製に、など) ※まだ不十分ですが。

*バック入れでないものを選ぶ(果物とか)

*ペットボトルの炭酸飲料を箱買いしていたのをやめて、炭酸水を作る機会を買いました。プラスチックの食品トレイなどは洗ってスーパーのリサイクルに出しています。講演や旅行のときにはマイボトルを持ち歩くようにし、講演や客先で出されたペットボトルには手をつけないようにしています。飴は、袋を紙使用に切り替えたメーカーのものも買います(プラ製のものも買いますが)。海外の竹ストローやステンレス製、紙製、米粉製のストローを買い集めて Yahoo!ニュースの記事を書き、消費者に啓発しています。

*包装材に使われているので無駄なものは買わない

*マイバック、マイボトルを持参することしかできておりません。生活に密着した製品が多く、購入を控えることまでは踏み込んでいません

*日本社会の環境がプラスチック利用の抑制を図れる状況でない。例えば家庭用の飲料水、洗剤、食品を家庭から持ってきた空容器に量り売りで調達できるような環境があちこちにあれば改善できる。現況は企業努力でレジ袋をリサイクル素材にとかストローを紙にとか、包装素材をリサイクル素材にとか、まだまだ時間がかかりそう。日本よりアフリカ諸国の取り組みが先進的。ケニアではレジ袋を禁止しているほか持っているだけで罰金が課せられます。もう40か国以上の国々がレジ袋廃止をしています。また製造工場も廃止するなど先を行ってまーす。とにかく日本は何から何までプラスチックの包装で溢れていて、今回のコロナ禍のせいで更に食品一つ一つがラップされていたりプラの増加は止まりません。

*レジ袋有料化前より取り組んでいます。・マイバックの利用・飲料ペットボトルの大容量を購入し、カップに入れて飲む。*日本国内のプラスチックの8割が飲料業界、2割が家庭用品と聞いております。業界での取り組みが進んでいますが、更に進化させて欲しい(したい)。

*不要な過剰包装はやめる、他の素材で変わるのもあれば検討する。

*上記マイバックを常に持ち歩いている。鶏肉などプラスチックトレイでなく、ポリ袋に入って売っているものを買う。スーパーのサッカー台の自由にとれるポリ袋は、本当に液だれしそうな物用以外にはもらわない。洗剤・シャンプーなど、詰め替え用を買う。毎日、弁当と水筒持参。

*レジ袋を普段から再利用している

*マイバックを利用するようにしています。(4名)

*スーパーの回収ボックスの利用等、出来る範囲で資源化に努力している

*ゴミの分別・リサイクルの徹底(3名)

*余計なものは買わない、安くてすぐ壊れるものより、少し高くても耐久性の高いものを使う。食品保存には繰り返し使用可能なタッパーやシリコンラップなどを利用していることなどでしょうか。

*生ごみを捨てる時などどうしてもプラ袋を使っていたいますが、最近は食パンの袋など包装資材を使うようにしています。

*マイボトルを持参することでペットボトルの利用を減らしたり、買い物時にマイバックを持参する等、3Rを意識した行動に心掛けています。

*ペットボトルを買わずマイボトルを持参している。買い物にはマイバックを持参する。子供の時から自然由来の製品を使わせ意識づけさせる(茶碗、箸、コップなど)

取り組んでいる
(続き)

- * ささやかなのですが、同じ商品であれば過剰包装でない方を選ぶようにしています。
- * 弁当持参、マイボトル持参、あとはなるべく物を買わない。
- * はい、減りました。今までは、生協のお店やスーパーではたいていマイバッグを使っていたのですが、コンビニやドラッグストア・パン屋さんでは、手元のかばんに入るのであれば、いりませんと言っていたこともありましたが、多くの場合はレジ袋をもらっていました。このもらっていたレジ袋はすべてもらわないようになりました。
- * 周りのプラスチック製品の使用を減らしている
- * PET ボトル飲料は買わない。プラの分別リサイクルを徹底する。レジ袋はもらわない。
- * 回収できるプラスチックごみは分別して、回収ボックスに入れている。
- * マイパック持参、コンビニでスプーンやフォークをもらわない、飲み物にストローは使用しない、容器の材質を見てから購入するなど
- * 補充できるものは、容器を捨てずに補充するようにしている。他、様々なリサイクル・リユースへの取組みの実施
- * ペットボトルを頻繁に購入していたが、水筒を持ち歩くようにした。
- * サービスでついてくるようなプラスチック製品はすべて辞退。飲料はなるべく自宅で沸かすようにしています。
- * 家にあるペットボトルを集め、飲料水のストックローテーションをスタートしました。直売店などプラ包装をあまり使用しないところで買っています。プラ包装やラップは洗い、使い回しています。プラは使い捨てではないと考えると、いろいろと変えられるとおもいます。
- * 行政、自治会等のリサイクルに出す(ペットボトル)。必要性を重視してから購入するようになった。野菜は地場野菜をなるべく購入するようになった。
- * 以前はペットボトル入りのコーヒーを買っていたが、紙容器入りの大容量サイズの商品を購入している。
- * 自宅で使うストローを金属性の洗って使えるものに変えました。ジムや職場にもマイボトルを持参しています。
- * ばら売りなどトレイ不使用の商品があれば購入、ペットボトル飲料を控える、当然のことながらマイバッグ持参、不要なビニール袋は断る、…こんな程度しかできていません。
- * 利便性はある程度我慢する。保存にはできる限りラップを使わずタッパーを使う。簡易包装の製品を選ぶ(企画する)。ゴミ袋をできるだけ有効に使うことを目的に焼却ゴミ(東京在住)を減らしたい。生ゴミは庭の土に埋める。(土が肥えて植物の育ちが良くなる)。家族や地域住民とのSDGs 話題。
- * マイバッグや古い紙袋の活用、ペットボトルからマイボトルの利用
- * 購入時はなるべくプラスチックの使用が少ないもの、他素材で代替されているものを選択するようにしている。
- * レジ袋は何回も再利用し、確実に焼却に至るよう、廃棄する。
- * エコバックの持参、トレイを使用していない包装の肉や魚の購入くらいしかできていません。
- * ペットボトルではなく、なるべく水筒を利用程度。トレイやペットボトルはゴミではなく回収程度。特に意識して取り組んではない。
- * レジ袋をもらわないようにしている。昼はお弁当(プラスチック容器入り)を買わないようにしている。マイ水筒を時々使う。外食をする(今はあまりできない。)
- * 不要なものを買わない。プラマークがあるものをリサイクルに出す。

<p>取り組んでいる (続き)</p>	<ul style="list-style-type: none"> *マイバッグを持つ、水筒を持ちペットボトル飲料はなるべく買わない、それくらいですね。 *洗剤などは詰め替え用があるものを選ぶ。中身はしっかり使い切る。 *家庭内使用のペットボトル商品の購入をやめました *容器包装は個人での削減は難しい。レジ袋の削減位。 *分別廃棄と再利用 *ペットボトルは買わない。商品のトレイを使っていないものを買う。肉屋で買って、紙製のヘギに入れてもらうようにしている。(たまたまそのいう店を見つけたので) *きれいにしてリサイクルには出していますが、自粛生活で家族全員で3度の食事でも家で食べるようになって、逆に以前よりプラスチック製品が増えました。コロナの影響で、今まで簡易袋で買っていた総菜まで全部パックされて、世の中プラスチックで溢れていることを再確認した自粛生活でした。ただ、不織布マスクは2月に購入していたものをずっと洗って使いまわしています。意外と丈夫！ *マイボトルの使用によるペットボトル飲料の購入を控える。など *プラ包装器などを洗ってリサイクルに出してます。それから、テイクアウトコーヒーのプラ蓋、マドラー、ストローはもらいません。 *スーパーで鶏肉を買う時、発泡スチロールのトレイを使用していないポリ袋に入っている物を買う。家庭用品や食器は、ガラスや陶器、金属、竹や木など、なるべくプラスチック製品でないものを選んで買う。生ごみなどは新聞紙にくるんで捨てる。洋服はなるべく天然素材の物を買う。 *洗剤、シャンプーなど詰め替え用を利用している。500ml のペット飲料をなるべく買わない。食品は保存容器に入れラップの使用を減らしている。 *スーパーより個人商店の利用が増えたのでトレイは減っているが、飲料のペットボトルはコロナの影響で微増した。23区のごみ処理が「燃えないゴミ」としての回収から「燃やすゴミ」にシフトしていることも問題。昨今の百均の充実が驚くが、使い捨てにつながるプラ製品を極力買わないようにしている。 *目黒区はプラは、資源として回収しています
<p>取り組んでいない 10</p>	<ul style="list-style-type: none"> *プラスチック使用量の削減は心がけておりません。せいぜいが レジ袋を買わなくなったくらいですが それも はるかにおおくの資材を必要とするマイバッグへの置き換えですので カーボンフットプリントという観点からは削減はなししております *思いつかない・・・東京のサーマルリサイクルがどこか逃げになっているかもしれない。

【設問6.】マイクロプラスチックごみに関して思うこと・意見

〈参考1.〉国際連合広報センター「やめよう、プラスチック汚染」-HP より



ご存知ですか。実はプラスチックごみの9割が、リサイクルされていないこと。毎年800万トン以上のプラスチックがゴミとして海に流れ込んでいること。すでにその数は銀河系の星の数より多く、2050年には魚の量より多くなると予測されていること。そして、一部は紫外線・海流・波で、**マイクロプラスチック**と呼ばれる細かい破片となり、有害物質が付着しやすくなり、鳥や魚がエサと間違えて食べ、その魚を私たちが食べていること。買い物で、飲食店で、あらゆるところで、必要ないプラスチックを使うのはやめましょう。そのプラスチックは、使い捨てになるだけではなく、この地球を汚す可能性が高いのだから。

〈参考2.〉「マイクロプラスチックとは？」環境省公表資料「海洋ごみとマイクロプラスチックに関する環境省の取組」(海洋ごみシンポジウム2016)より一部抜粋

微細なプラスチックごみ(5mm以下)のこと。含有／吸着する化学物質が食物連鎖に取り込まれ、生態系に及ぼす影響が懸念される。2015年独G7首脳宣言においても、海洋ごみ(とりわけプラスチック)が世界的な問題であることが確認された。

(分類)①一次的マイクロプラスチック(primary microplastics)・・・マイクロサイズで製造されたプラスチック。洗顔料・歯磨き粉等のスクラブ材等に利用されているマイクロビーズ等。排水溝等を通じて自然環境中に流出。②二次的マイクロプラスチック(secondary microplastics)・・・大きなサイズで製造されたプラスチックが、自然環境中で破砕・細分化されて、マイクロサイズになったもの。

⑥マイクロプラスチックごみに関して思うこと・意見

- *原理が理解できないと、協力しにくい。
- *例えば私たちの使ったレジ袋がどのようにして海の**マイクロプラスチックゴミ**になるかがよくわかると、それぞれの人が自分にできることが見えてくる気がします。
- *脱プラスチックの方向にいかないと**マイクロプラスチック**は減らないのではないかと思う
- *環境問題含め、それぞれの意識改革が必要 正しい情報を見極める力をつける。
- *この目で見える機会がないためか、いまひとつ実感がわかない。
- *体への影響について、詳しく知りたい
- *一から勉強したい。
- *海洋汚染の実態をもっと知って理解する必要がある。
- *現状の汚染状況など、もっと積極的に国民に情報提供、知らせてほしい。危機感を持ってもらいたい
- ***マイクロプラスチック**の原因をもっと具体的に示すべきではないでしょうか。コンタクトレンズを水道

に流すことやアリエールの使用などプラの膜を流すことが便利だとはいえ、必要なのでしょうか。

***マイクロプラスチック**の講演を聴き、フリースを洗濯する時に繊維が流れて**マイクロプラスチック**になると知って驚いた。歯磨き粉の研磨剤や洗顔フォームなどにも**マイクロプラスチック**が使われていることも知らなかったし、自分が使っている物が**マイクロプラスチック**になると思ってなかった。知ってからは買い物をするときに気を付けるようになった。レジ袋やストローは分かりやすいので、身近なものから意識してもらうのは良いと思う。海洋ゴミや川のゴミは普段の生活では目にしない人が多いので、問題になっていることを知らない人も多いと思う。

*レジ袋を捨てているから自分には関係ないとか、燃やせば済むといった意見を言っている人の多さに失望しています。日本がリサイクルに含めているサーマルリサイクルは国際的にはリサイクルではありません。また、**マイクロプラ**問題はレジ袋だけではなく、人工芝や洗剤、歯磨きなど、気がつかないところで拡散し、撒き散らしているのです、他人ごとではありません。

*海洋、大気に汚染が広がり聞くとよると売っている水や食塩にも**マイクロプラスチック**が見つかっているようで、大気中に舞っている**マイクロプラスチック**濃度については日本は世界平均より数倍高いという話も聞いています。肺がんや甲状腺異常など影響が出る可能性も魚や鶏肉やなんて言っている場合じゃないかもです。

*(マスコミの醸し出す印象によれば)シャンプーのスクラブ材に始まり 最近では マスクやプラスチック袋が 深海にまで沈んでいることが **マイクロプラスチック**の散乱の原因とされています。スクラブ材は確かに多くの**マイクロプラスチックごみ**となって海洋に流れていきますので いちばん手っ取り早いのは 使用制限で これは業界によって確実に進められています。次の マスクやプラスチック袋は その成型の際にすでに**マイクロプラスチック**が表面に大量に生成しています。マスクやプラスチック袋を(意図してもあるでしょうし意図せずもあるでしょう)海洋に投棄しなければ **マイクロプラスチック**の多くは 土壌にまき散らされ そこで分解されるため 海洋には なかなか 至りません。また マスクやプラスチック袋を 使用後ちゃんとごみ箱に回収し 確実に焼却してしまえば 海洋投棄への道筋はふさがれます。海洋に投棄されなければ 海洋で分解され **マイクロプラスチックごみ**を生じることもないわけです。

回収・焼却が困難なものとして ペットボトルの中に発生している**マイクロプラスチック**があります。ボトル成型の時に生じたものが その中に残り 飲料とともに人間が摂取し 胃腸では消化されず 下水にながれ 下水処理場も通過して 海洋に広がります。これは厄介なものなのですが いまだ 大きな声でマスコミは騒ぎません。上段で扱ったものは 使用をやめる、ごみとしてきっちり焼却すれば 自然界にまき散らされる**マイクロプラスチック**を激減させることができるのですが ペットボトルは その便利さから なかなか使用から脱却することが困難です。ペットボトルは回収体制が整い カーボンフットプリントでも優等生、割れにくく軽量の容器ですので 使用をやめるためには (**マイクロプラスチック** それも人間の胃腸を通過して下水に排出されるものを削減することが) 地球の社会全体として望ましい方向であるというコンセンサスができない限り先には進みにくい話題かと思えます

あと 遺棄された漁網の問題もあるのですが 水産資源の捕獲は 新興国にゆだねられている。そこには経済発展を優先するマインドセットが充溢している。漁網を バイオディグレーダブルなプラスチックに変えるというためには 社会全体としてそのコストを分担することが地球社会全体として望ましい というコンセンサスが必要となる。SDGsには そのような地球的視野で動いていただきたいと常々思っております

*増やさないのはもちろんですが、海中に存在する**マイクロプラスチック**を何とかして回収する技術が必要だと思います。宇宙デブリと同じで、次の世代に課題を押し付けるべきではないと思いますし、近年甚大化している自然災害発生にともない、海に流れるプラスチックは増えているのでは。

*我々が何気なく捨てたプラスチックごみが、海に流れ着き、海洋汚染を引き起こし、そのごみを魚が食べ、食物連鎖により、最終的には我々がその**マイクロプラスチック**ごみを食する可能性があるということで、我々に取って身近で大きな問題だと思っています。海で世界はつながっていることから、世界の人々に他人事ではなく、身近な問題として認識されるような地道な取組が重要であると感じています。

*人間がより快適に暮らすために安く大量につくられたプラスチック製品(当初の開発目的が安定した直ぐに壊れないコンセプトが現在では地球環境で考えるとデメリットとなった)が、やがてゴミとなり細

かく砕けて海洋生物が摂取し、食物連鎖を通して人の体内に蓄積されて人体に悪い影響を与えていくと思うと、人間だけでなく生物全ての問題であり今後世界的な環境問題として議論され地球環境の保全に向けた取組が広がっていくことを望みます

***マイクロプラスチック**は減らしていかなければいけないと思いますが、特定の何かを悪者にして対策をしても仕方ないと思います。結局代替の資源が消費されるだけで、資源全体の使い方を見なおさなければならぬと思いますし、それをするには現代の便利な生活(個包装、加工食品、お弁当等)を見直さなければならぬと思います。生分解性のレジ袋なら環境に良いという一部の情報でよいことをしている気になつたりしないよう、気を付けていきたいと思います。)

*プラスチックが世に出始めた1950年代から、もう70年が経っている中で、すでに**マイクロプラスチックごみ**となっている物も含めて、自然界のプラスチックごみをどう回収し処分をしていくのか、今の取組み自体が遅過ぎる事について、全世界的に考えを一つにして取り組む必要がある。

***マイクロプラスチック**を減らすには、生産削減、リサイクルの促進がかかせないと思います。廃棄したプラスチックもマイクロ化しないよう施策が必要と考えます。

*そもそものプラスチック使用を抑制すること、正しく確実に廃棄すること、が重要だと思う。現在、**マイクロプラスチックゴミ**の解決策として「バイオマスプラスチック」への転換があるが、用語が正しく浸透していないと思う。石油資源でないもの、生分解性があるもの、生分解性であっても土の中の微生物で分解されるもの、海洋分解性があるものなど全てひっくるめて「バイオマスプラスチック」とされている気がする。これらを消費者が正しく理解するのは難しく、なんとなく自然に優しいと思い込ませている。せめて海洋分解性プラスチックがメジャーになってほしいが、それであっても分解まで相当の期間を要するので、海洋生物の誤食や事故は防げず、いくらか問題は残す。プラスチックをなるべく使わず、正しく廃棄する社会にしたい。

*結局人類(端的に言えば自分)に影響を及ぼす重大事です。

*資化性ある新素材の開発を加速すべき。

*ペットボトルの海洋流出を防ぐ方法や海洋ゴミの回収事業化を検討してはどうか。内食は買い物の段階からプラスチックの利用が多いため、食品の包装にプラスチックの代替製品がないだろうか考える。

*ゴミ削減のためには消費者ひとりひとりを含め、社会全体で取り組まなければ、と思います。生分解性プラスチックの開発、改良、普及にも期待しています。プラスチックの海洋汚染については、漁具が原因として大きいと聞くので、漁具など産業用具の生産、使用から廃棄までの対策が講じられてほしい。

***マイクロプラスチック**の原因となるプラスチックゴミを減らすことは一義的に必要だと思うが、**マイクロプラスチック**と呼ばれる工業用研磨剤や洗顔料、歯磨き、化粧品に入っているスクラブの見直しも課題。私は、スクラブ入り商品は買わなくなった。一次**マイクロプラスチック**の代替品の研究を産官学の協働で進めて欲しい。

*代替品があれば、使用しない方向に進めるしかない。

*環境汚染は深刻な状態になってきている。

*便利ではありますが、近年海などのプラスチックごみの映像を見ると未来の環境が大変不安で「ゾッ」としています

*ここ数年で、安価で簡単便利というものの進化が、実は環境汚染につながっていたという事実を実感するようになりました。

*個人のモラルだけでなく、国際協力による地球的取り組みが必要

*なるべく海洋や自然界に排出しない処理方法を確立すべき

*自然界に存在しないものが、私たちの生活から生じている人害だと思いますまた、影響は海に現れていますが、発生の多くが経過している川での対策が効果的だと考えます

*海洋汚染は我々人類の責任。業界の取組み、社会におけるプラスチックゴミの廃棄を減らしていくしかないと思います。

*便利さや過度な衛生性を求めるとどうしてもプラスチックは増えてしまうと思います。今回のコロナでパン屋さんが陳列商品をすべて個包装してしまう動きは特殊かもしれませんが、どこまでが本当に必

要かを消費する側も意識する必要があると思います。また、海洋汚染面では不法投棄が大きな問題ですので、こちらは取り締る側に期待したいと思います。

*海の汚染は以前から(私たちが国連環境開発会議で議論した時)一つの課題でした。拙監訳「WHO 環境保健委員会報告:われらが地球。われらが健康」(1993)参照してください

*我々の生活にプラスチック製品は欠かせない。であるなら、上手に共生していく必要がある。**マイクロプラスチック**にしないように、プラごみを分別排出するなどしっかり管理していくことが大事。特に、PET ボトルは水平リサイクルを行うことで、資源循環の仕組みをつくるのが可能である。プラスチックをしっかりとリサイクル化することで、「ごみ」にしないようにする。

*プラスチックそのものを減量するとともに徹底的な分別収集をはかることが大切だと思います。不織布のマスクが道端に捨てられている様子を見るについて強く思います。

*産業の発展に全エネルギーを集中させる時代がようやく終わり、人類が俯瞰で世界(地球)を考える時代に入ってきたんだと近年感じています。この新しいベクトルが世間に広がれば世界は変わるので、非力ながら、自分も仕事(外食の表示や販促)を通じて発信していければと思います。

*問題はレジ袋やペットボトルだけではないけれど、一人一人がやれることから動かないといけないと思います。

*再生可能品への移行が必要です。海洋投棄しないようにすればかなり環境にはやさしくなります

*減らすことは必要だと思うが、個人の力では、自分の出すプラスチックごみを減らすこと以外、なかなか思いつかない。

*飲料も製造しているメーカーとして、PET 容器の方向性に悩んでいる個人的にはガラス瓶が、もっとも良い容器だと考えている(割れる・重たいなどの不便さはあるが…)

*正直、レジ袋だけで対策となるとは思わないが、意識としてはよいと思います。

*現在の所、科学的根拠に乏しく人体や生態系への影響が不明確であり、割りばしの二の舞になりそう

*消費されるだけで、資源全体の使い方を見なおさなければならないと思いますし、それをするには現代の便利な生活(個包装、加工食品、お弁当等)を見直さなければならないと思います。生分解性のレジ袋なら環境に良いという一部の情報でよいことをしている気になつたりしないよう、気を付けていきたいと思います。

*海への流出を防ぐには、個人の努力も必要だが埋め立て地などからの流出を規制するなどが必須だと思う。またポイ捨ての削減のためにシンガポールのように厳しい法律があっても良いと思う。

*節度ある人たちがばかりではないので、状況に応じて捨てる場所を増やし、分別やリサイクルしやすい環境を整える必要があると思う。また、ポイント、返金などがあるととても良い。

*根本的には容器包装が非プラスチック製に変わらないと大きな変化は見込めないのではないかな。

*海への影響について懸念している

*海洋汚染や動物、魚類への影響もあり問題だとは思いますが、具体的に何ができるのか、踏み込んで考えたことはない。

*とにかく使わなくてもくれるからもらうようなことは絶対やめるべき

*身近な製品でどのようなものに使用されているか知り、できるだけ他のものに代える工夫をしたい

*ポイ捨てをなくし、とにかくきちんと分別して廃棄し、リサイクル資源として活用すればいいことだと思う

*自分自身、小さい頃からゴミのポイ捨ては絶対しないし、日本は海外に比べ路上のゴミも少なく、ゴミの回収も自治体が請負ルールに則って処理をしていると考えていたので、なぜそんなに海洋の**マイクロプラスチック**が多いのか不思議に思います。ルールを守らない業者や国が多くあるという事でしょうか？

*プラスチック削減を意識する生活がレジ袋の有料化によって高まったことは事実だとそのことについては日本は遅くなってしまったけれど良かったと思っています。ですが、燃やしてしまえばいいかと思う考えが一方であることで、一市民の自分はどうすればいいの？と頭を抱えてしまいます。コロナの影響でテイクアウト形式が増えたことでプラごみは増えているでしょうし、小さな努力はしているつもりですが、ひとりひとりができるこれといったことがなかなか見えてこないことが悩みです…。

*まだ研究が続くと思っています

*個人の努力も必要ですが、発生抑制のための事業者・社会全体の意識改革が重要だと思います。分別するたびにプラスチックゴミの多さに驚かされます。

*便利な社会と同時に失われていくものが多くあり、いつの間にか解決できないような状況になっている。早くに分かっていただけで深刻な状態にならないとなかなか対処できないと感じる。またこのレジ袋有料化は消費者にごみ問題をわかりやすく伝えられることで有効であったと思う。

*ペットボトルの海洋流出を防ぐ方法や海洋ゴミの回収事業化を検討してはどうか。内食は買い物の段階からプラスチックの利用が多いため、食品の包装にプラスチックの代替製品がないだろうか考える。

*プラスチックごみをきちんと処分する、海に流れないようにする事が大事だと思います。

*昔から警告されていたことで、観光地や海・山などアウトドアでのポイ捨ては言い続けられてきた。公衆道徳の問題ではあると思う。一方で食品包装のプラスチックは公衆衛生を大きく前進させても来た重要な技術でもある。ポイ捨て防止キャンペーンが重要なのだと思う。

*地域性なのか、認知度がないように感じる。

*海洋汚染のことも考えて、便利なペットボトルもやめるべきだと思う。軽いからということで、調味料にも使っているのはどうなのか？その点では、生活クラブのやり方も一理ある。しかしそれには膨大な人件費もかかるし、洗浄や配送コストも考える必要がある。

*海洋ゴミで海の生態系に大きな影響を与えていることに、胸が痛みます。砂浜調査で**マイクロプラスチック**の多くを占めていたのは人口芝というのを聞きました。自分はプラごみを捨てたりしていないと思っていても、いつの間にか靴底につけて移動してしまう場合もあります。また、マイバックの多くもプラスチックでできているので、いつかゴミになるとレジ袋50枚分を捨ててしまうことになるそうです。マイバック選びもデザインだけでなく素材を考えて購入する。そんな情報も多くの人に知ってもらえるといいと思いました。

*快適なくらしのために生まれたプラスチックが、このような形で返ってくるとは。でも、まだ分かっていないことも多そうです。個人個人でやれることが提示されたら実践していきたいと思います。今後はプラスチックをゴミとして出さない努力は必要だと思う。

*街中で、プラカップなどが捨てられているのを見かけると、マナーの問題も同時進行で取り組んで、と思います。

*災害が増えれば、波にさらわれたプラスチックは海へ。ポイ捨てをすれば、そのゴミは海へ行くかもしれない。水のためにと洗剤を使わないアクリルたわしも、**マイプロプラスチック**の原因に。レジ袋は削減になったが、ゴミ出しに使うため、まとめて買う人が増えているとか。……いったいどうしたらいいのか。便利な暮らし方を見直し、ちょっとした不便はがまんするしかないのでしょうか？